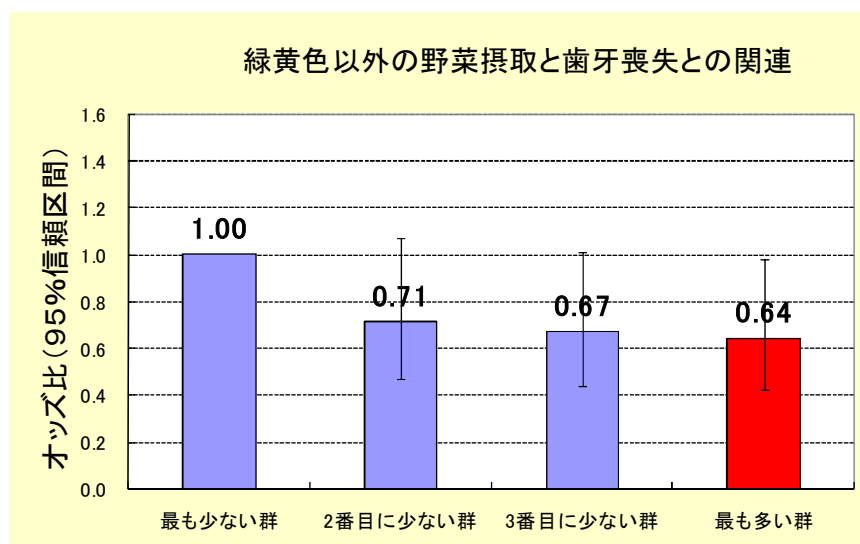


## 大阪母子保健研究ベースラインデータの結果 野菜摂取と歯牙喪失との関連

**背景：**栄養摂取と歯牙喪失との関連に関する疫学研究はとても少ない状況です。特に、若い成人を対象とした研究はほとんどありません。今回、野菜、果物、穀類の摂取と歯牙喪失との関連について調べました。

**方法：**大阪母子保健研究のベースライン調査に参加した 1002 名の妊婦さんを対象としました。今までに 1 本以上永久歯を抜歯したことがある場合を「歯牙喪失あり」と定義しました。栄養摂取は、食事歴法質問調査票を使用しました。年齢、ベースライン調査時妊娠週、子数、能動喫煙状況、家庭内及び職場での受動喫煙状況、家計の年収、教育歴、過去 1 ヶ月の食事変容、回答時の季節及び BMI を交絡因子として補正しました。

**結果：**1002 名の妊婦さんを摂取量によって 4 等分すると、緑黄色以外の野菜（その他の野菜）を最も多く摂っている群は、最も少ない群に比較して、歯牙喪失ありの人の割合が有意に少



なくなっていました。また、不溶性食物繊維の摂取と歯牙喪失の間には負の量—反応関係の傾向を認めました。緑黄色野菜、果物、穀類、水溶性食物繊維、βカロテンの摂取と歯牙喪失の間には、有意な関連は認めませんでした。

**結論：**若い成人において、緑黄色以外の野菜や不溶性の食物繊維の摂取は、歯牙喪失に予防的であるのかもしれませんが。

**出典：** Tanaka K, Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Miyamoto S, Matsunaga I, Yoshida T, Hirota Y, Oda H and the Osaka Maternal and Child Health Study Group. Relationship between intake of vegetables, fruit, and grains and the prevalence of tooth loss in Japanese women. J Nutr Sci Vitaminol. 2007; 53: 522-528.